

令和5年度（大和高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服従規律の徹底）	教育公務員としての自覚を持ち、信用失墜行為を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・綱紀保持通知等の事例を通して、朝の打ち合わせや職員会議等で、職員全体に注意喚起を図った。 ・職員啓発資料等を用いて、職員の法令遵守意識の向上を図ることで未然に防止できた。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職員一人ひとりがパワハラ、セクハラ、マタハラ等について意識を高め、未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの実施や不祥事防止研修の中で、自分自身の行動を振り返ることで未然防止につなげた。 ・職場における適切なコミュニケーションを心掛け、相談しやすい環境を作ることで未然防止を図った。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりがわいせつ・セクハラ行為について当事者意識をもって取り組み、未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒とのSNSの禁止を徹底するとともに、部活動等で生徒の携帯電話番号を収集する場合は、理由と最低限度の人数であることを確認し、必ず、所定の申請書を提出し、管理することで未然防止に役立てた。
体罰、不適切な指導の防止	体罰と不適切指導の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・複数顧問での指導、管理体制の中での日常的な観察と、生徒からのアンケート実施をすることで未然防止できた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者選抜業務において、公平かつ公正に選抜業務を行い、事故を未然に防止する。 ・定期試験問題の作成・管理及び成績処理に係る事故を未然に防止する。 ・調査書・推薦書等、進路関係書類の作成・発行に係る事故を未然に防止する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者選抜においては、過去のヒヤリハット事例を共有しながら、事故防止の徹底を図った。今年度から導入された出願システムについても、事前の入念な準備を行い、事故なく業務を遂行できた。 ・定期試験の問題作成、成績処理については、昨年度同様、複数によるチェック体制を徹底し、未然防止に努めた。 ・調査書作成マニュアルの検証を行うとともに、推薦業務や、進路書類の作成、出願指導における手順や注意点を周知し、複数のチェック体制で適正な処理を行うことができた。
個人情報等管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適切な取扱いに努め、個人情報の流出を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教務手帳や出席簿等の適切な管理については、定期的にチェックし、未然防止を図った。個人情報の持ち出しは、管理職の許可を受けた上で行い、持ち出し簿による管理を徹底した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故の発生、酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止研修会において、飲酒や交通事故に係るヒヤリハット事例を紹介することで、職員に注意喚起を行い、事故防止につなげた。

業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	作業プロセスの簡素化・効率化、文書や電子ファイルの共有化と引継ぎの徹底を図り、未然に事故を防止する。	・各グループ、学年等で業務改善を進め、業務のマニュアル化や効率化を図り、次年度への引継ぎがうまくいくよう整備した。また、職員会議資料を電子化することで業務を簡素化できた。
財務事務等の適正執行	会計事務処理を適正に行い、事故を未然に防止する。	・適切な私費会計を遂行することができた。現金の取扱いは必要最小限にとどめ、事故のないよう管理することができた。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

令和5年度不祥事プログラムの行動計画に基づいて実施し、目標を概ね達成することができた。とくに、教員自らのヒヤリハット事例の紹介は、教員どうして身近な話題が多く、その原因や状況を共有できることから、職員一人ひとりの「当事者意識」を高めることができ、結果、学校全体における不祥事の未然防止に大いに役立っている。

今年度は例年に比べて県全体での不祥事が多かったことを踏まえ、次年度も実施責任者として副校長、教頭、事務長及び総括教諭とともに企画会議を中心とした体制を組んで、不祥事ゼロめざしてしっかりと職員の啓発を図っていきたい。